



ジョブズコミュニティレポート vol.9

—採用担当者に向けたホットピック・アンケート結果—

株式会社リクルートジョブズでは、採用担当者向けサイト「人材info」のメールマガジン会員に対して、継続的にアンケート調査を行っています。このレポートでは、2019年12月～2020年6月に行ったアンケート結果を中心に、業種別・地域別の結果と合わせてまとめました。

アンケート結果からは、新型コロナウイルスによってアルバイト・パートの勤務にも影響があったこと、採用現場や人材不足の状況にも変化が起きていることなどが見てとれます。

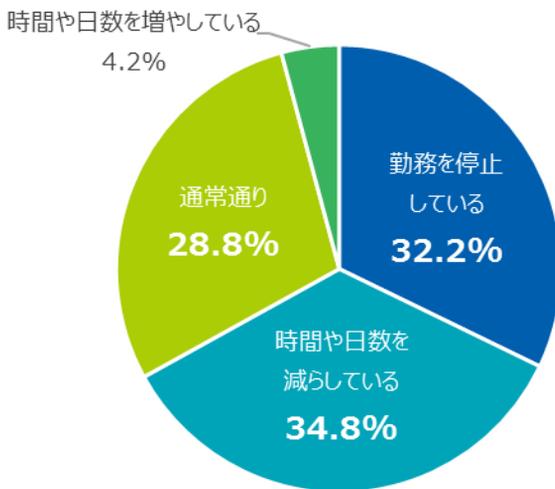
<目次>

- | | |
|--|----|
| 1. 新型コロナウイルスの影響で、アルバイト・パートの勤務に変更はありますか？ | 1 |
| 2. 1年前に比べて人手不足を感じますか？ [時系列データ] | 3 |
| 3. WEB面接を取り入れていますか？
新型コロナウイルスの影響で、アルバイト・パート採用についてどのような対応を取っていますか？ | 6 |
| 4. どのような場面で最も人材不足の影響を感じますか？ | 9 |
| 5. アルバイト・パートから正社員や契約社員への登用をしていますか？
アルバイト・パートを採用するとき、同職種での経験を重視しますか？ | 11 |

ジョブズコミュニティレポート vol.9-1

コロナ影響でアルバイト・パート勤務を停止 約3割

Q ▶ 新型コロナウイルスの影響で、アルバイト・パートの勤務に変更はありますか？



2020年4月16日、政府は新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づく緊急事態宣言の対象地域を、全都道府県に拡大しました。その翌日に配信した本アンケートへの回答数は2,400件を超え、関心の高さがうかがえます。

アンケート結果を見ると、最も多い回答は「時間や日数を減らしている」34.8%。次に多い回答は「勤務を停止している」32.2%でした。アルバイト・パートの勤務を止めたり減らしたりしたという回答が、6割以上にのぼり、新型コロナウイルスの影響が大きかったことがわかります。

(調査時期：2020年4月)

解説 ▶ 休業に対する助成金・給付金などの支援策が取られている

雇用調整助成金 特例措置のポイント (4月1日～9月30日)	
対象事業者	<ul style="list-style-type: none"> 雇用保険適用事業主 新型コロナウイルスの影響を受け、生産指標(売上高など)が月5%以上減少 従業員を休業させ、休業手当を支払った
助成率	<ul style="list-style-type: none"> 休業手当の4/5(中小)、2/3(大企業) ※対象期間内に解雇等を行っていない場合、10/10(中小)、3/4(大企業) 上限額 1人1日あたり15,000円
その他	<ul style="list-style-type: none"> 雇用保険被保険者でない労働者の休業も助成(緊急雇用安定助成金) 計画届の提出が不要に

※詳細は別途ご確認ください。

新型コロナウイルスの影響に対して、政府や地方自治体などは、各種支援策を行っています。

雇用に関しては厚生労働省が、事業主が休業手当に要した費用を助成する「雇用調整助成金」の特例措置(左表参照)、テレワーク導入への助成金などを設けています。

【参考】厚生労働省 働く方と経営者の皆さまへ
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html#hatarakukata

- アンケート実施期間：2020年4月17日～4月23日
- 有効回答数：2,487人
- 対象：弊社メールマガジン会員

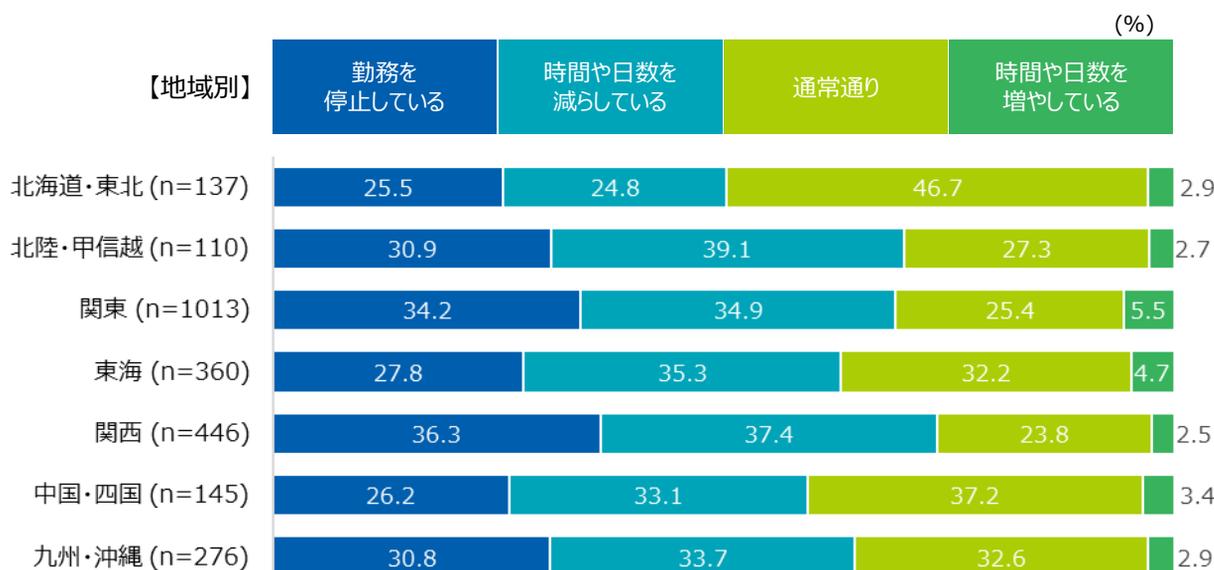
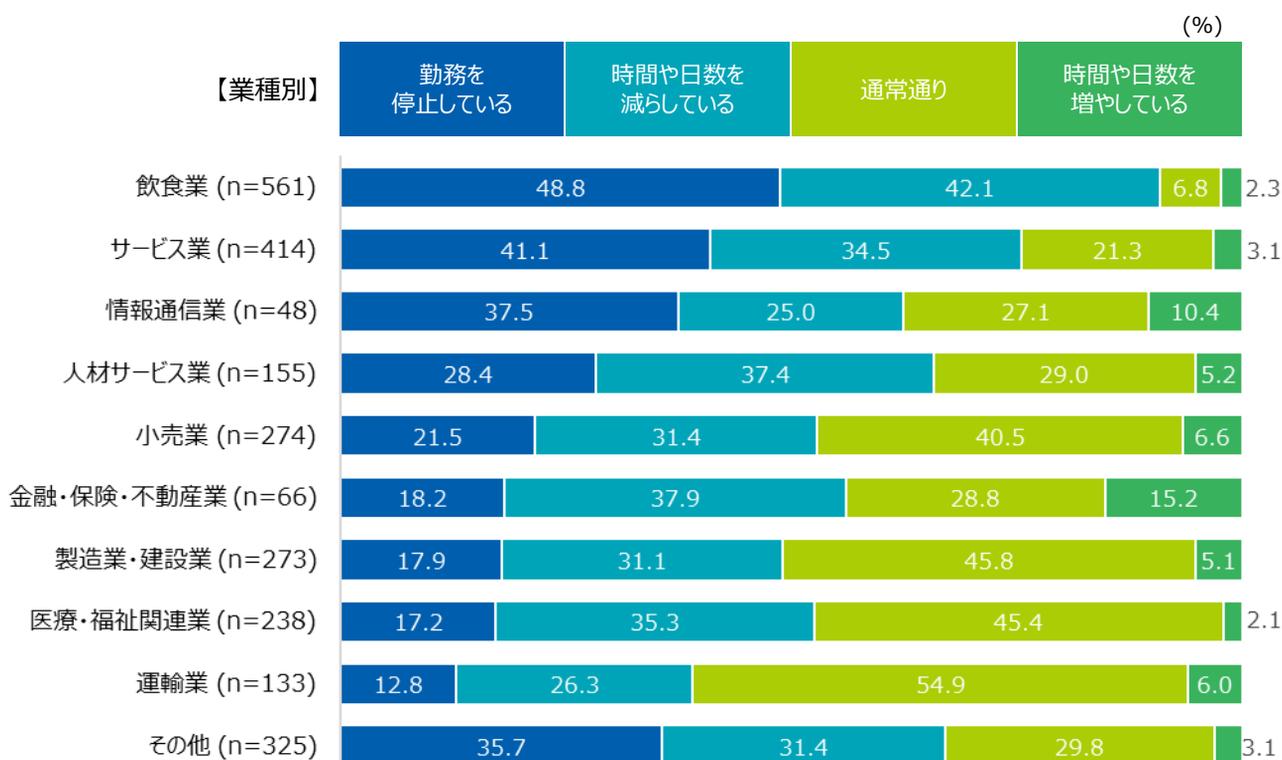
- 最新のアンケート結果はこちらから
リクルートジョブズ 求人広告ネット 人材info
ジョブズコミュニティ
<https://www.jinzai-info.net/enquete/results/>

Q. 新型コロナウイルスの影響で、アルバイト・パートの勤務に変更はありますか？

業種別・地域別 ▶ 飲食業、サービス業は「勤務を停止している」が4割超

新型コロナウイルスのアルバイト・パートの勤務への影響について、業種別に見ると、「勤務を停止している」という回答は飲食業、サービス業で特に多く、4割超となりました。一方、運輸業、医療・福祉関連業、製造業・建設業は「通常通り」の割合が高くなっています。休業要請などに応じて、業種による違いが出たと考えられます。

地域別に見ると、いずれの地域でも半数以上が「勤務を停止している」または「時間や日数を減らしている」と回答しており、関西、北陸・甲信越、関東では約7割にのぼりました。



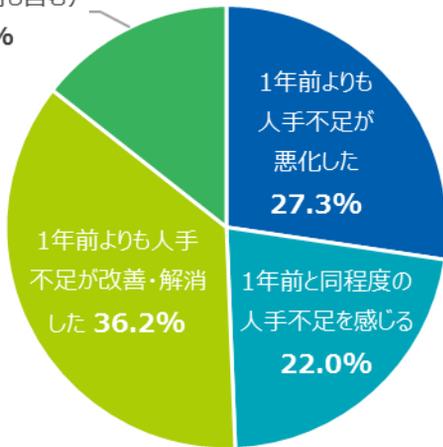
ジョブズコミュニティレポート vol.9-2

「人手不足が改善・解消」3割以上

Q ▶ 1年前に比べて人手不足を感じますか？

1年前も現在も、人手不足は
感じない（過剰も含む）

14.4%



人手不足感を聞いたアンケート。「1年前よりも人手不足が改善・解消した」が36.2%で、最も割合が高くなりました。新型コロナウイルス感染防止のための休業や時間短縮などの影響もあると考えられます。「1年前よりも人手不足が悪化した」「1年前と同程度の人手不足を感じる」は合わせて約5割となっています。

状況は刻々と変わっており、今後どのように変化していくのか注視されます。

（調査時期：2020年6月）

解説 ▶ 「1年前よりも人手不足が悪化」は大きく減少

下のグラフは、同じ質問へのこれまでの結果です。「1年前よりも人手不足が悪化した」の割合が大きく減り、「1年前よりも人手不足が改善・解消した」の割合が増加しています。



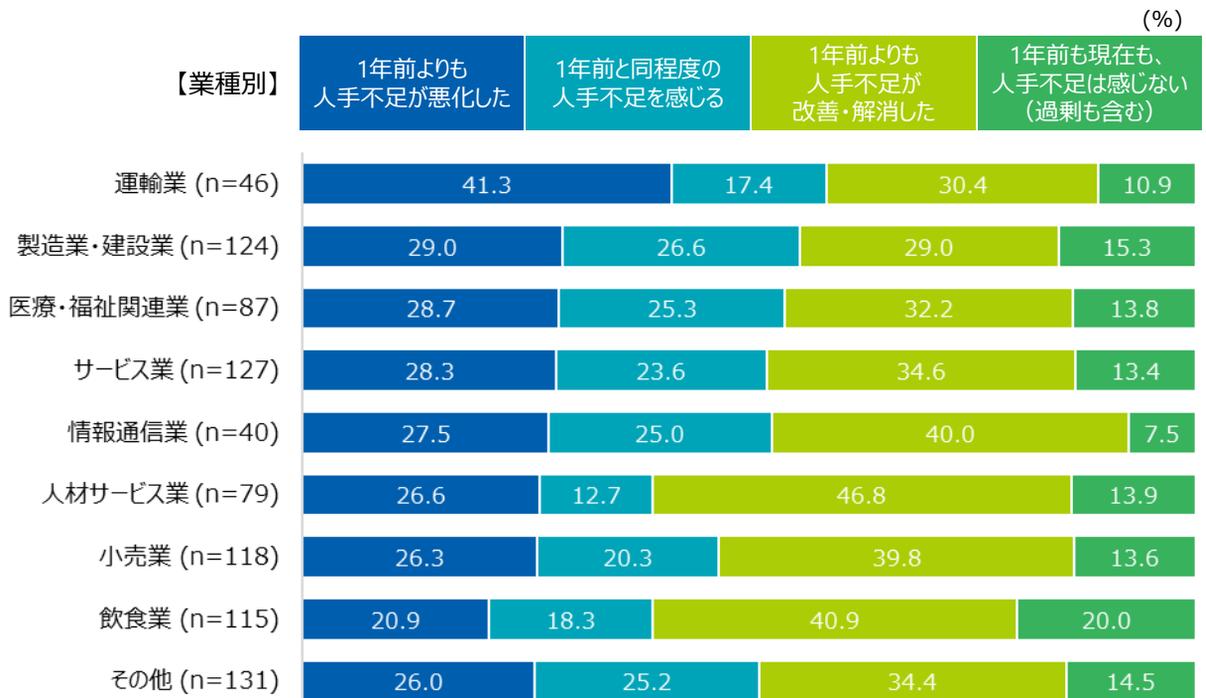
- アンケート実施期間：2020年6月19日～6月26日
- 有効回答数：867人
- 対象：弊社メールマガジン会員

- 最新のアンケート結果はこちらから
リクルートジョブズ 求人広告ネット 人材info
ジョブズコミュニティ
<https://www.jinzai-info.net/enquete/results/>

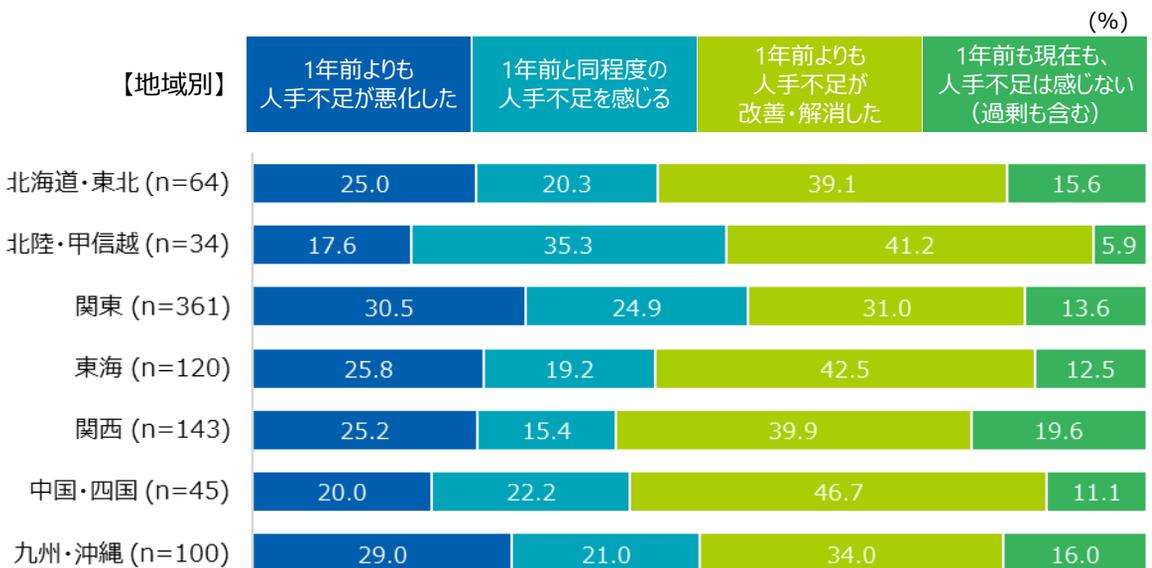
Q. 1年前に比べて人手不足を感じますか？

業種別・地域別 ▶ 「人手不足が改善・解消」人材サービス業、飲食業、情報通信業で4割超

人手不足の状況を業種別にみると、「1年前よりも人手不足が悪化した」という回答の割合は、運輸業で約4割と最も高くなっています。一方で「1年前よりも人手不足が改善・解消した」は人材サービス業、飲食業、情報通信業で4割以上となりました。



※「金融・保険・不動産業」は回答数が30未満と少ないため、「その他」に加えた。

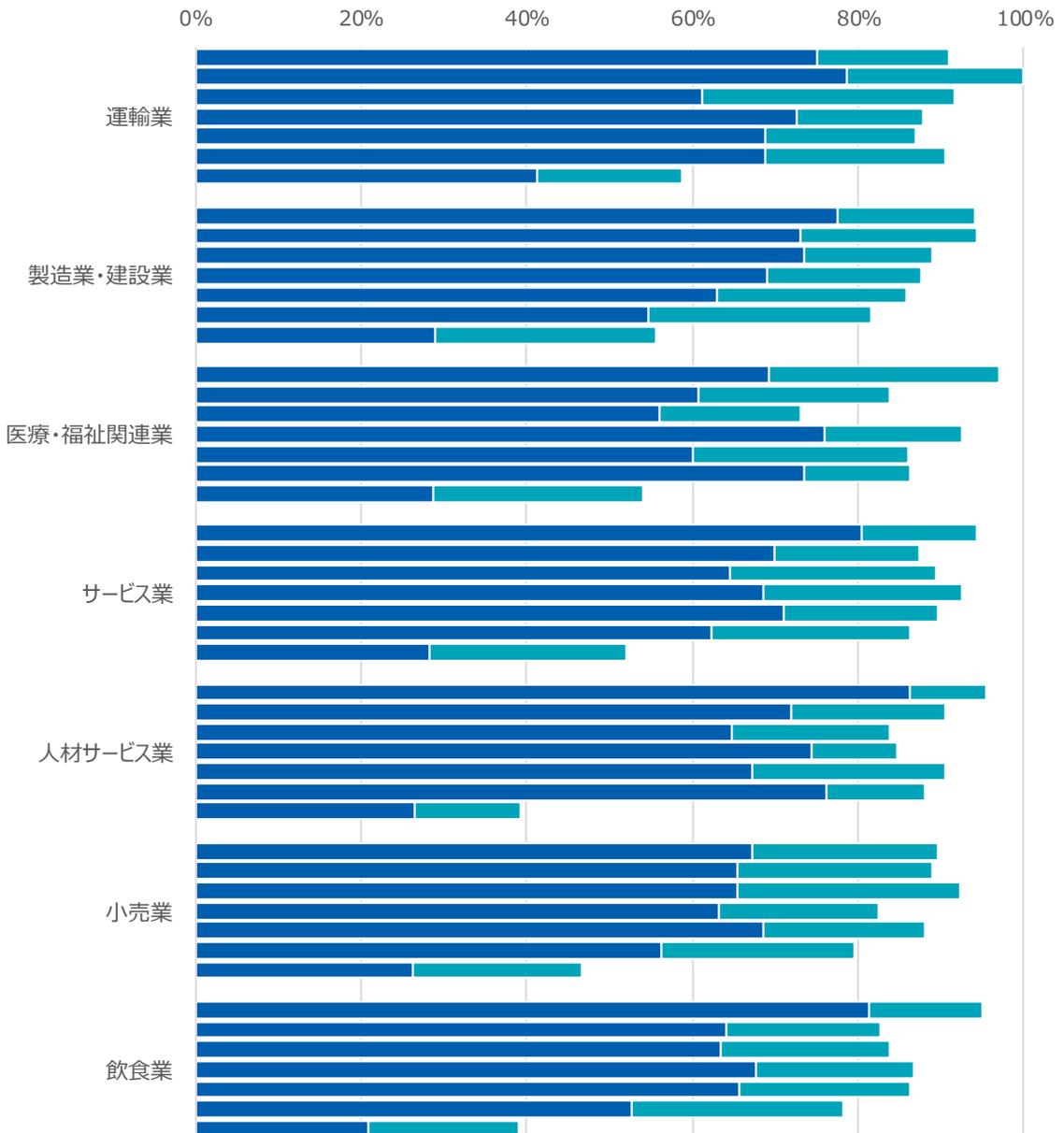


Q. 1年前に比べて人手不足を感じますか？

業種別・時系列 ▶どの業種でも人手不足感が大きく減少

p.3で見た人手不足感の変化について、さらに業種別に見てみましょう。多くの業種で「1年前よりも人手不足が悪化した」「1年前と同程度の人手不足を感じる」が合わせて8割以上という人手不足の状況が続き、やや改善の兆しも見えてきましたが、2020年6月は大きく状況が変わり、4～6割程度に急減しました。

■ 1年前よりも人手不足が悪化した ■ 1年前と同程度の人手不足を感じる
 - 各業種、上から2017年4月・10月、2018年5月・10月、2019年4月・10月、2020年6月

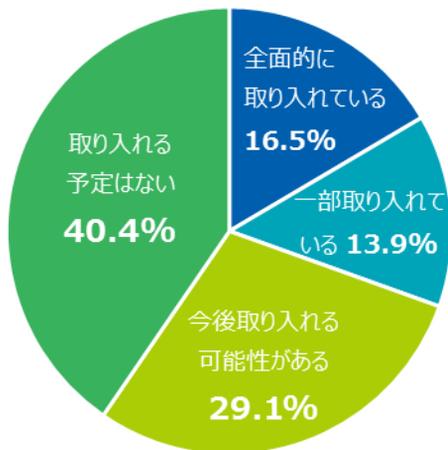


※「金融・保険・不動産業」「情報通信業」「その他」は割愛。

ジョブズコミュニティレポート vol.9-3

「WEB面接を取り入れている」約3割

Q1 ▶ WEB面接を取り入れていますか？



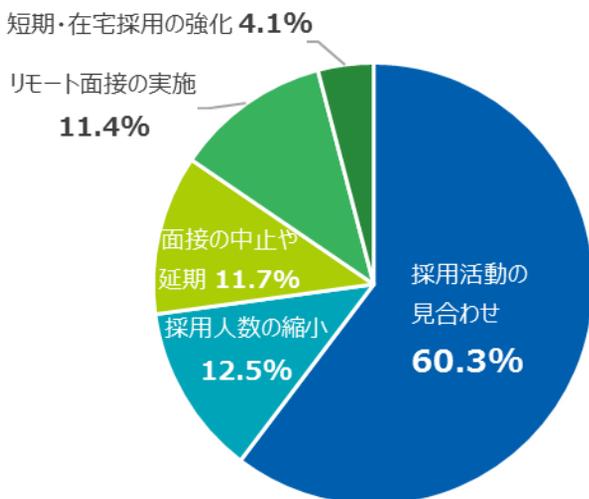
新型コロナウイルスの影響でテレワークやWEB会議の導入が進むなか、WEB面接（オンライン面接）を取り入れる企業もあるようです。

アンケート結果を見ると、「全面的に取り入れている」「一部取り入れている」と何かしらWEB面接を取り入れているとの回答は全体の約3割。「今後取り入れる可能性がある」も約3割でした。

対面での面接ならではのメリットもある一方で、WEB面接は離れた場所でも面接を行えるほか、日程調整がしやすい、面接場所の確保が不要などのメリットもあっていわれています。WEB面接の活用は、さらに広がる可能性があるでしょう。

（調査時期：2020年5月）

Q2 ▶ 新型コロナウイルスの影響で、アルバイト・パート採用についてどのような対応を取っていますか？



新型コロナウイルス対策の特別措置法が成立して緊急事態宣言の可能性が出てきた3月後半、アルバイト・パート採用の状況について聞きました。回答数は1,200件と通常より多く、関心の高さがうかがえました。

結果を見ると最も多かった回答は「採用活動の見合わせ」で60.3%。「採用人数の縮小」が12.5%、「面接の中止や延期」が11.7%などとなりました。

その後の状況は刻々と変わっていますが、アルバイト・パート採用が大きな影響を受けたことが見て取れます。

（調査時期：2020年3月）

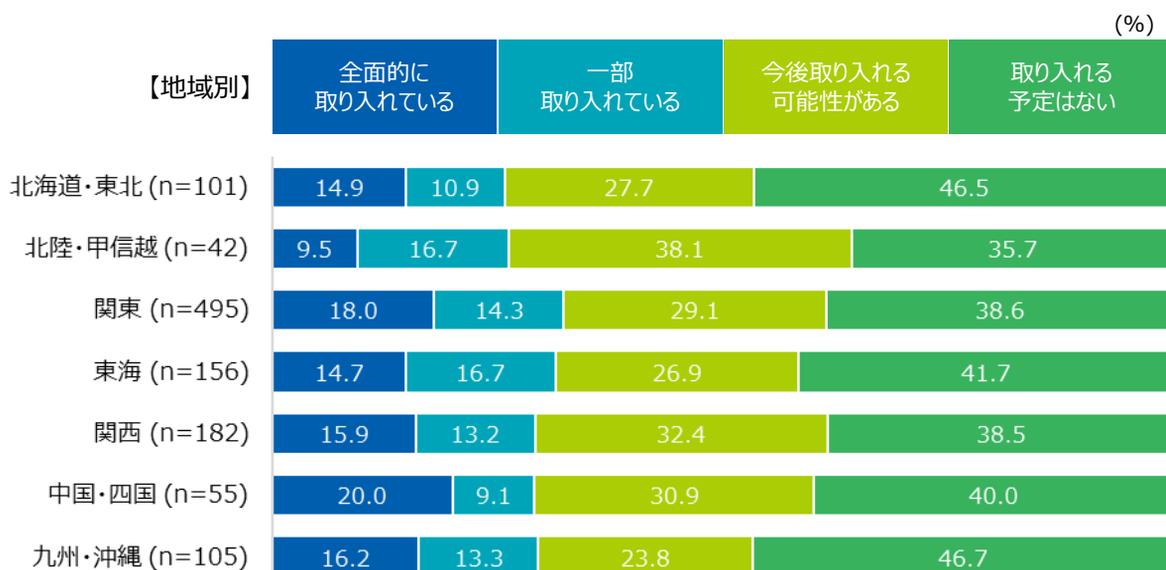
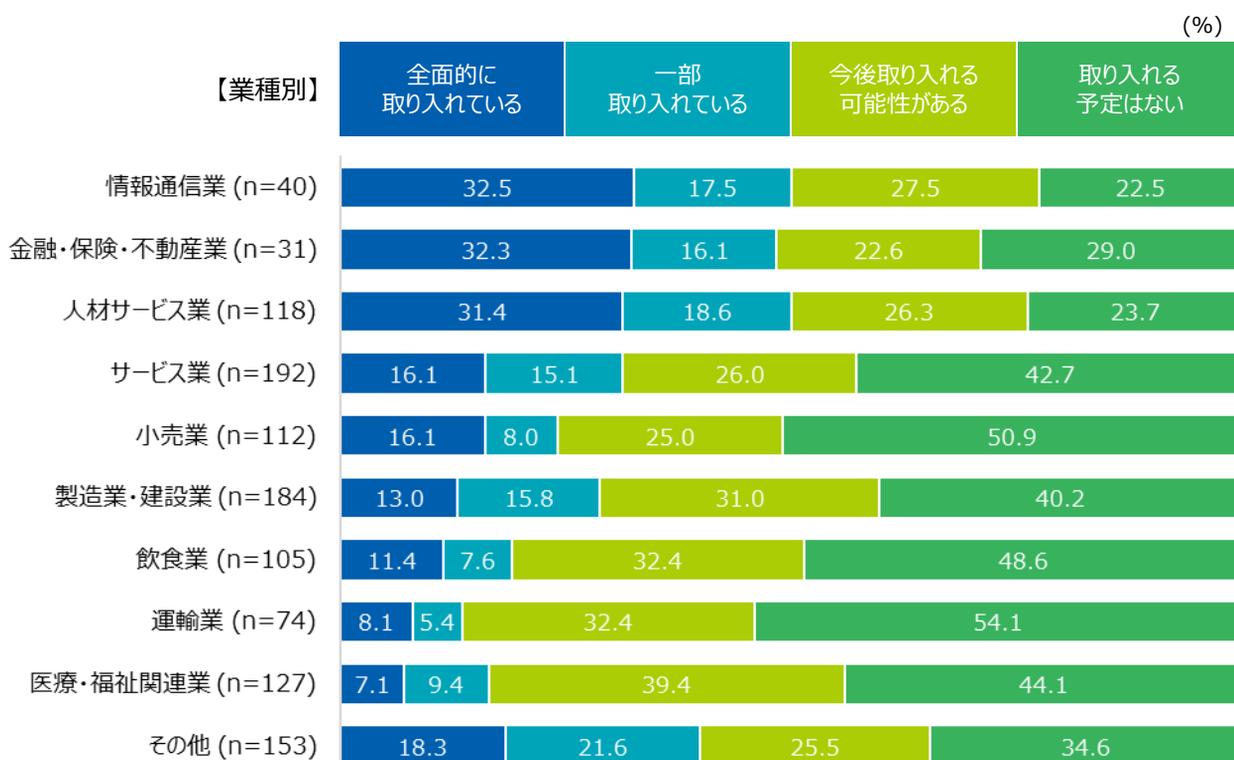
- アンケート実施期間：
Q1) 2020年5月22日～5月28日
Q2) 2020年3月17日～3月26日
- 有効回答数：Q1) 1,136人 Q2) 1,200人
- 対象：弊社メールマガジン会員

- 最新のアンケート結果はこちらから
リクルートジョブズ 求人広告ネット 人材info
ジョブズコミュニティ
<https://www.jinzai-info.net/enquete/results/>

Q. WEB面接を取り入れていますか？

業種別・地域別 ▶ 情報通信業、金融・保険・不動産業、人材サービス業では約5割が導入

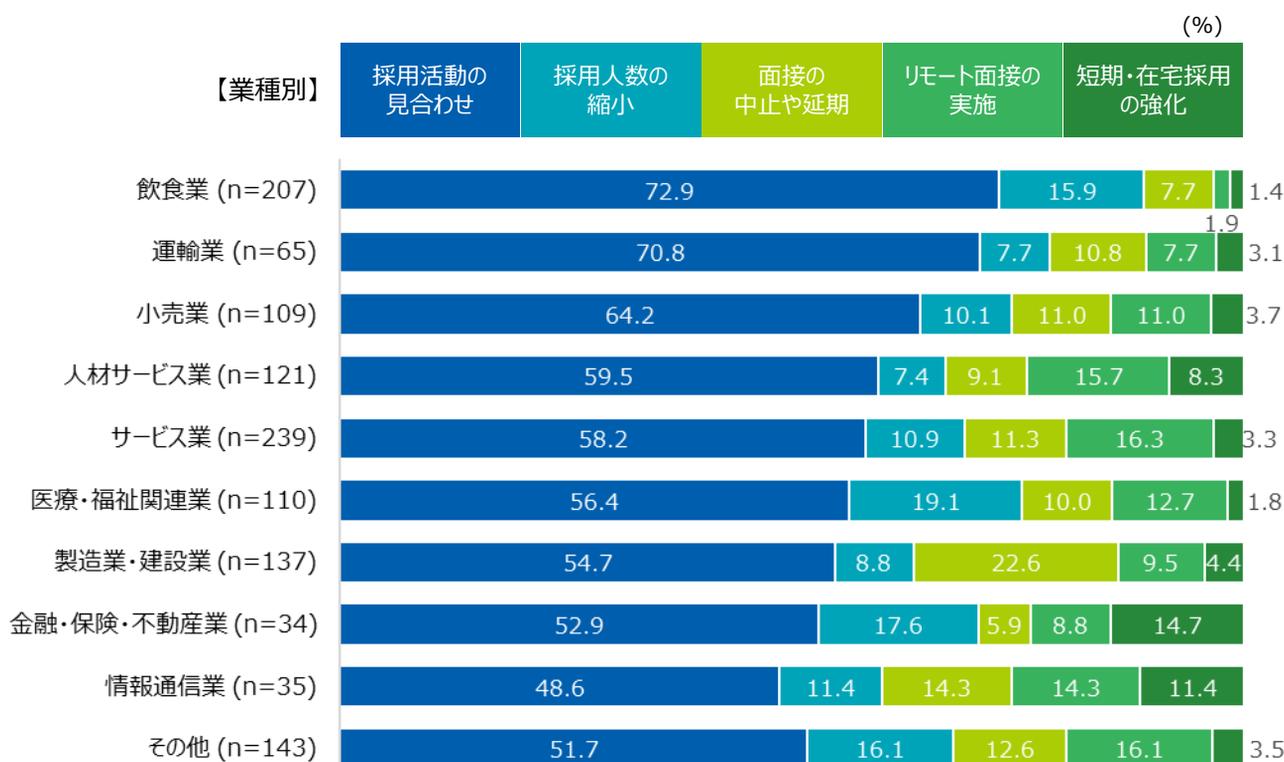
WEB面接を取り入れているかのアンケート結果を業種別に見ると、「全面的に取り入れている」または「一部取り入れている」との回答は、情報通信業、金融・保険・不動産業、人材サービス業で約5割となりました。普段からパソコンを使うことが多い職場で取り入れられやすいものと考えられます。一方、医療・福祉関連業、運輸業、飲食業では、取り入れているとの回答は現状では2割を下回っています。



Q. 新型コロナウイルスの影響で、アルバイト・パート採用についてどのような対応を取っていますか？

業種別・地域別 ▶「採用活動の見合わせ」は飲食業、運輸業で約7割、小売業で6割以上

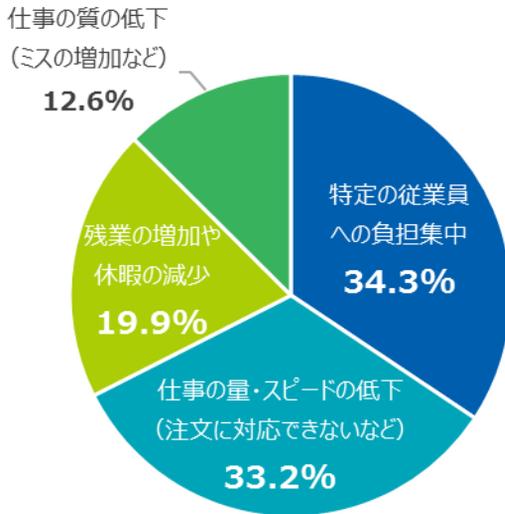
3月後半に聞いたアルバイト・パート採用の状況。業種別に見ると、「採用活動の見合わせ」は飲食業、運輸業で約7割、小売業で6割以上となりました。「短期・在宅採用の強化」との回答は、金融・保険・不動産業、情報通信業で比較的割合が高くなっています。



ジョブズコミュニティレポート vol.9-4

人材不足で「特定の従業員に負担」3割以上

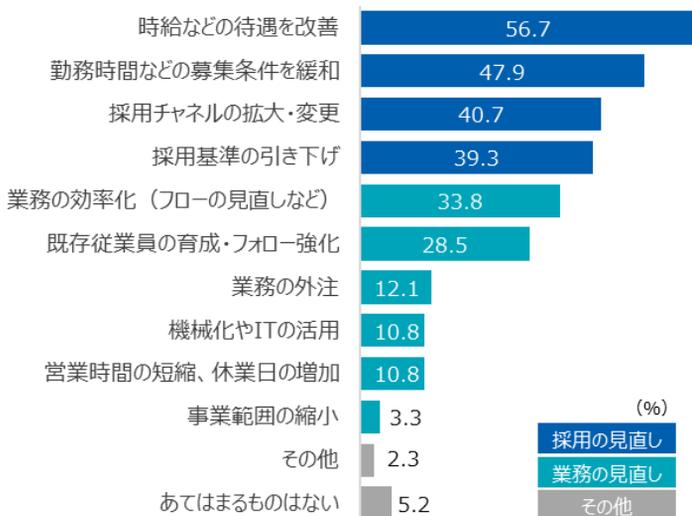
Q ▶ どのような場面で最も人材不足の影響を感じますか？



人材不足の影響を感じる場面について聞いたアンケート。結果を見ると、「特定の従業員への負担集中」が34.3%で最も割合が高く、次いで「仕事の量・スピードの低下（注文に対応できないなど）」が33.2%でした。また、「残業の増加や休暇の減少」や「仕事の質の低下（ミスの増加など）」に影響を感じる場合も少なくないようです。

（調査時期：2019年12月）

解説 ▶ 対策は「時給などの待遇を改善」6割弱、「勤務時間などの募集条件を緩和」5割弱



左のグラフは、過去の調査で人材不足についてどのような対策をとっているか聞いた結果です。最も多かったのは「時給などの待遇を改善」で、次いで「勤務時間などの募集条件を緩和」など、採用の見直しに関するものが続きます。また、「業務の効率化（フローの見直しなど）」「既存従業員の育成・フォロー強化」など、採用活動にとどまらない対策も取られていると考えられます。

Q. 人材不足についてどのような対策をとっていますか。
（複数回答、n=305）

出典：ジョブズコミュニティレポート vol.4

https://jbrc.recruitjobs.co.jp/data/data20180412_853.html

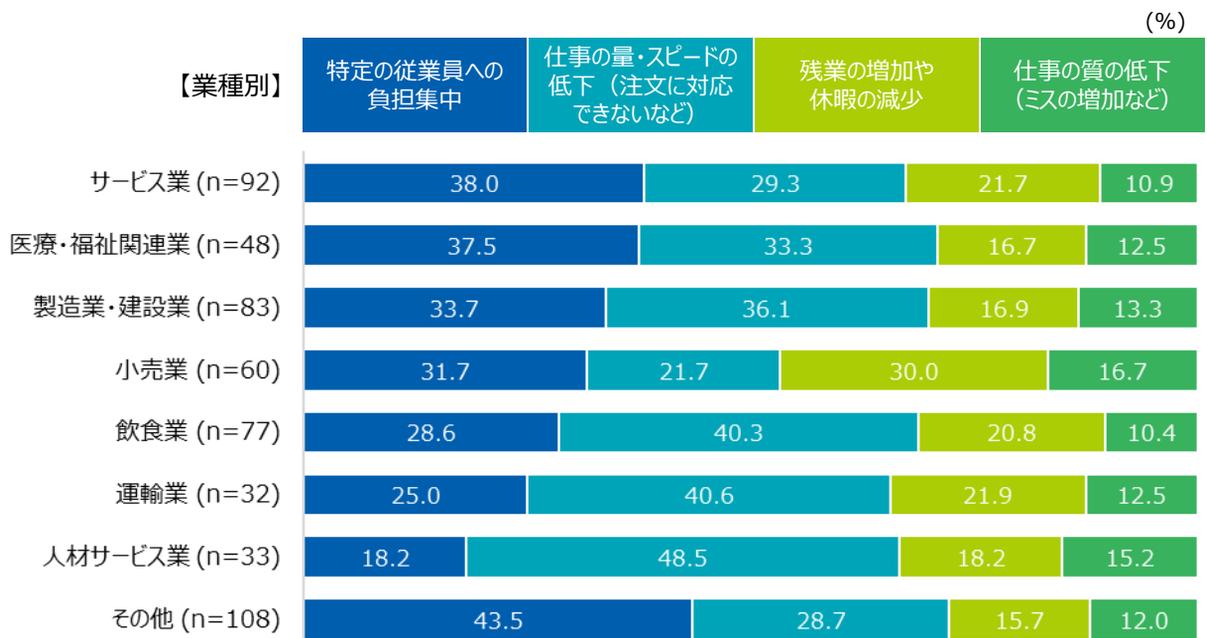
- アンケート実施期間：2019年12月20日～12月27日
- 有効回答数：533人
- 対象：弊社メールマガジン会員

- 最新のアンケート結果はこちらから
リクルートジョブズ 求人広告ネット 人材info
ジョブズコミュニティ
<https://www.jinzai-info.net/enquete/results/>

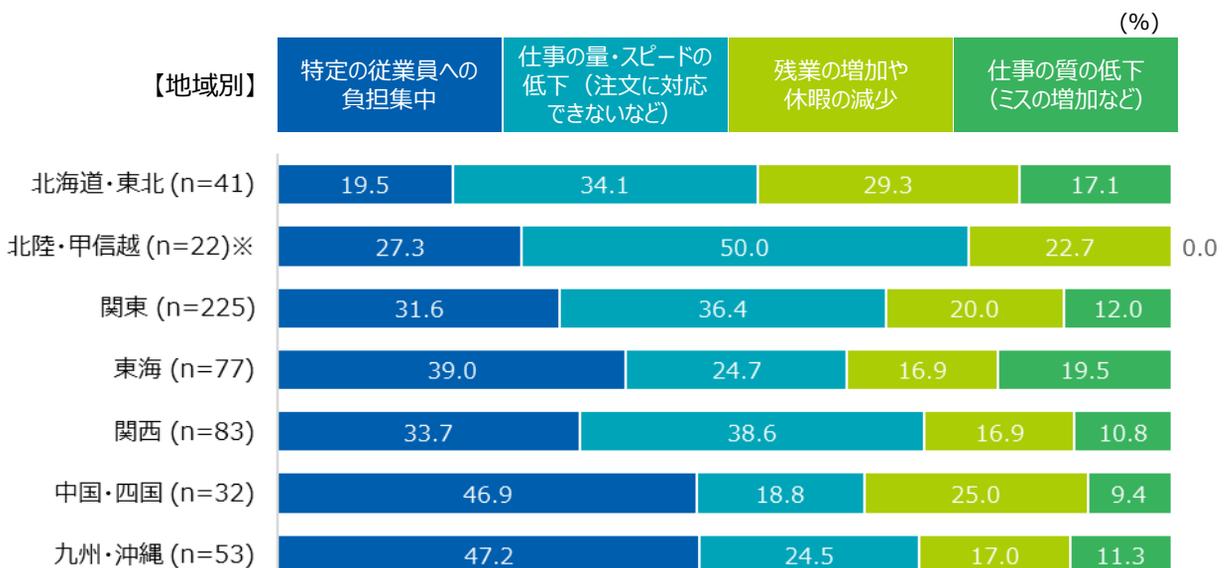
Q. どのような場面で最も人材不足の影響を感じますか？

業種別・地域別 ▶ サービス業は「特定の従業員への負担」、運輸業などは「仕事の量・スピード」

人材不足の影響を感じる場面について聞いたアンケート。サービス業、医療・福祉関連業、小売業では、「特定の従業員への負担集中」の割合が最も高くなっています。一方、人材サービス業、運輸業、飲食業、製造業・建設業では、「仕事の量・スピードの低下（注文に対応できないなど）」が最も多くなりました。また、小売業では「残業の増加や休暇の減少」も30.0%と多くなっています。



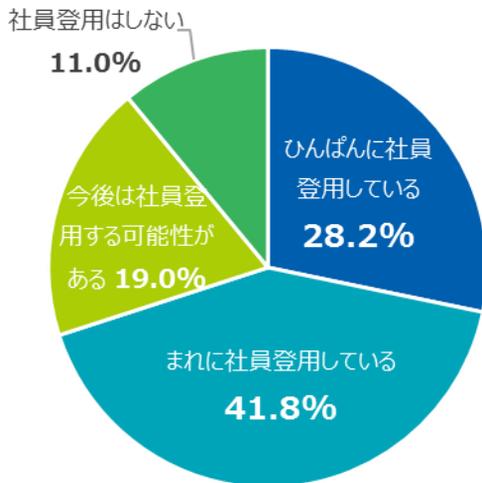
※「情報通信業」「金融・保険・不動産業」は回答数が30未満と少ないため、「その他」に加えた。



※「北陸・甲信越」は回答数が30未満と少ないため、参考として掲載する。

ジョブズコミュニティレポート vol.9-5 アルバイト・パートの社員登用あり 約7割

Q1 ▶ アルバイト・パートから正社員や契約社員への登用をしていますか？

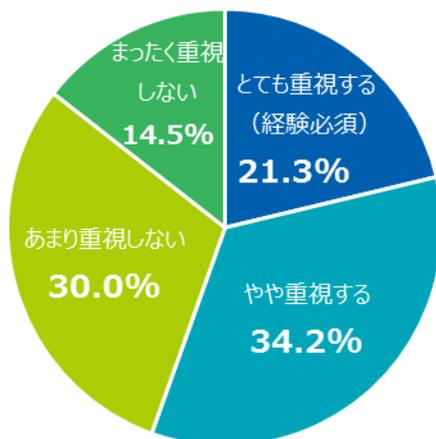


アルバイト・パートとして働く従業員を、正社員や契約社員に登用することがあるかを聞きました。最も多かったのは「まれに社員登用をしている」41.8%。次いで「ひんぱんに社員登用している」が28.2%でした。

社員登用をすることで、企業側は人材不足の解消や将来の中核人材確保を図ることができ、働く側にとっても、より安定した収入やキャリアアップにつながる可能性があるでしょう。

(調査時期：2020年1月)

Q2 ▶ アルバイト・パートを採用するとき、同職種での経験を重視しますか？



アルバイト・パートを採用するとき、その仕事内容の経験を採用条件にするかどうかは、仕事内容や状況によって変わってくると考えられます。特定のスキルが必要な場合や、即戦力を求めている場合には、経験が重視される一方で、経験は不問という場合もあるでしょう。

アンケート結果をみると、「とても重視する」+「やや重視する」と、「あまり重視しない」+「まったく重視しない」がほぼ半数ずつの結果となりました。

(調査時期：2020年2月)

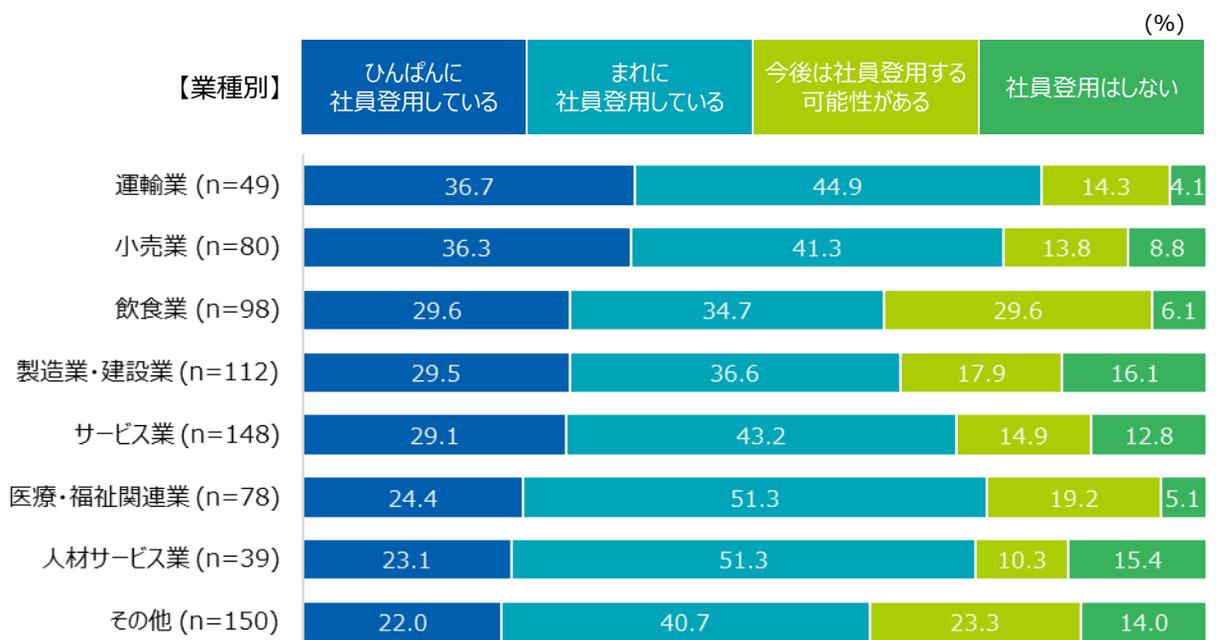
- アンケート実施期間：
Q1: 2020年1月31日～2月6日
Q2: 2020年2月27日～3月4日
- 有効回答数：Q1) 754人 Q2) 456人
- 対象：弊社メールマガジン会員

- 最新のアンケート結果はこちらから
リクルートジョブズ 求人広告ネット 人材info
ジョブズコミュニティ
<https://www.jinzai-info.net/enquete/results/>

Q. アルバイト・パートから正社員や契約社員への登用をしていますか？

業種別・地域別 ▶ 運輸業、小売業「ひんぱんに社員登用している」

アルバイト・パートの社員登用について業種別に見ると、「ひんぱんに社員登用している」は運輸業、小売業で割合が高くなっています。「まれに社員登用をしている」は医療・福祉関連業や人材サービス業が多いようです。飲食業では、「今後は社員登用する可能性がある」が約3割となっており、今後登用が進む可能性があるでしょう。



※ 「情報通信業」「金融・保険・不動産業」は回答数が30未満と少ないため、「その他」に加えた。

